

安全データシート (SDS)

1. 製品及び会社情報

製品名 モノタロウ パケツ入り固形石鹼
会社名 株式会社MonotaRO
所在地 〒660-0876 兵庫県尼崎市竹谷町2-183 リベル3階
担当者名 商品お問合せ窓口
電話番号 0120-443-509
FAX番号 0120-289-888
緊急連絡先 所在地と同じ
作成・改定 平成20年7月12日(作成)/平成27年3月26日(改定)
管理番号 M150408

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性	火薬類	分類対象外
	可燃性・引火性ガス	分類対象外
	可燃性・引火性エアゾール	分類対象外
	支燃性・酸化性ガス	分類対象外
	高圧ガス	分類対象外
	引火性液体	分類対象外
	可燃性固体	分類対象外
	自己反応性化学品	分類対象外
	自然発火性液体	分類対象外
	自然発火性固体	分類対象外
	自己発熱性物質	分類対象外
	水反応可燃性化学品	分類対象外
	酸化性液体	分類対象外
	酸化性固体	分類対象外
	有機過酸化物	分類対象外
	金属腐食性物質	分類できない
健康に対する有害性	急性毒性(経口)	分類できない
	急性毒性(経皮)	分類できない
	急性毒性(吸入:ガス)	分類対象外
	急性毒性(吸入:蒸気)	分類対象外
	急性毒性(吸入:粉じん)	分類対象外
	急性毒性(吸入:ミスト)	分類できない
	皮膚腐食性・刺激性	区分 1B
	眼に対する重篤な損傷/眼刺激性	区分 2
	呼吸器感作性	分類できない
	皮膚感作性	分類できない
	生殖細胞変異原性	分類できない
	生殖細胞変異原性	分類できない
	発がん性	分類できない
	生殖毒性	分類できない
	特定標的臓器・全身毒性(単回ばく露)	分類できない
	特定標的臓器・全身毒性(反復ばく露)	分類できない
	吸引性呼吸器有害性	分類できない
環境に対する有害性	水生環境急性有害性	区分 3
	水生環境慢性有害性	区分 3

絵表示又はシンボル：



- 注意喚起語： 危険
- 危険有害性情報：
- ・重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷（H314、皮膚腐食性・刺激性 区分 1B）
 - ・強い眼刺激（H319、眼に対する重篤な損傷／眼刺激性 区分 2）
 - ・水生生物に有害（H402、水生環境急性有害性 区分 3）
 - ・長期継続的影響によって水生生物に有害（H412、水生環境慢性有害性 区分 3）

- 注意書き：
- 【一般】
- ・医学的な助言が必要なときには、製品容器やラベルを持っていくこと。（P101）
 - ・子供の手の届かないところに置くこと。（P102）
 - ・使用前にラベルをよく読むこと。（P103）
- 【安全対策】
- ・粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。（P260）
 - ・取扱い後は手をよく洗うこと。（P264）
 - ・環境への放出を避けること。（P273）
 - ・保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。（P280）
- 【応急措置】
- ・飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。（P301＋P330＋P331）
 - ・皮膚（又は髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を流水／シャワーで洗うこと。（P303＋P361＋P353）
 - ・吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。（P304＋P340）
 - ・眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。（P305＋P351＋P338）
 - ・直ちに医師に連絡すること。（P310）
 - ・眼の刺激が続く場合：医師の診断／手当てを受けること。（P337＋P313）
 - ・汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。（P363）
- 【保管】
- ・施錠して保管すること。（P405）
- 【廃棄】
- ・内容物／容器を国際、国、都道府県、又は市町村の規則に従って廃棄すること。（P501）

3. 物質の特定

単一製品・混合物の区別： 混合物

成分及び含有量：

成分	含有量(%)	化審法 No.	CAS. No.	備考
脂肪酸ナトリウム (C:12～18)	45.0～55.0	2-611	91032-12-1	労働安全衛生法通知対象物含有
珪酸ナトリウム	10.0～20.0	1-508	1344-09-8	
水	残部		7732-18-5	
合計	100.0			

4. 応急処置

- 皮膚についた場合：皮膚についた場合、直ちに汚染された衣服や靴を脱ぎ、皮膚を流水で洗うこと。皮膚刺激が生じた場合、医師の診断を受けること。
- 目に入った場合：目に入った場合、直ちに清浄な流水で15分以上注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用して容易に外せる場合は外すこと。その後も洗眼を続け速やかに眼科医の診断を受けること。
- 飲み込んだ場合：無理に吐かせずに水で口の中をすすぎ、直ちに医師の診断を受ける。

吸入した場合 : 直ちに新鮮な空気のところに移し、気分が回復しない場合は医師の診断を受ける。

5. 火災時の措置

- 消火剤 : 小火災：二酸化炭素、粉末消火剤、散水、耐アルコール性泡消火剤
: 大火災：散水、噴霧水、耐アルコール性泡消火剤
- 使ってはならない消火剤 : 特になし
- 特有の危険有害性 : 火災によって刺激性、毒性、又は腐食性のガスを発生するおそれがある。
初期消火剤で消火の効果がでない大きな火災の場合には散水すること。
- 特有の消火方法 : 区域より退散させ、爆発の危険性により遠くから消火すること。
危険でなければ火災区域から容器を移動すること。
移動不可能な場合、容器及び周囲に散水して冷却すること。
消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却すること。
- 消火を行う者の保護 : 消火作業の際は、適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用すること。
-

6. 漏出時の措置

少量の場合は、ウェス等で拭き取る。多量の場合は、土砂等で流れを止め、出来る限り回収し、残分はウェス等で拭き取る。

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い : 眼、皮膚及び作業者との接触を避ける。スプレー状で使用する時は、風上に立って作業する。取扱い後は、手洗い、洗顔を十分に行う。
- 保管 : 子供の手の届かないところに施錠して保管すること。
容器を密閉して正立で保管すること。
直射日光の当る所、温度が 40℃以上又は 0℃以下の所、水のかかる所、湿気の多い所は避けること。
-

8. 暴露防止及び保護措置

- 設備対策 : 取り扱い場所近くに安全シャワー、手洗い、洗眼設備を設け、その位置を明瞭に表示する。
- 許容濃度 : 設定されていない
- 保護具
- | | |
|------------|-----------------------|
| 呼吸器の保護具 | : ガーゼマスク又はそれ以上の性能のマスク |
| 手の保護具 | : ゴム手袋 |
| 眼の保護具 | : ゴーグル型一眼眼鏡 |
| 皮膚及び身体の保護具 | : 作業着、ゴム長靴、ゴム前掛け等を使用 |
-

9. 物理／化学的性質

- 外観・臭気 : 薄い褐色を帯びた白色固体で、穏やかな特異臭を有する。
- pH : 9.0～10.0 (1%水溶液)
- 粘度 (25℃) : 該当しない
- 沸点 : 該当しない
- 凝固点 : 該当しない
- 揮発性 : 該当しない
- 発火点 : データなし
- 爆発範囲 : データなし
- 可燃性 : データなし
- 比重 (25/4) : データなし
- 溶解性 (水) : 40℃低濃度でほとんど溶解混和する。
-

10. 安定性及び反応性

- 安定性 : 熱、光、衝撃に対して安定である。

反応性 : 通常、危険な反応はない。
避けるべき材質 : データなし。

11. 有害性情報

刺激性 : 眼に刺激があり、皮膚や粘膜に刺激がある。
急性毒性 : 知見なし
慢性毒性 : 知見なし
がん原性 : 知見なし
変位原性 : 知見なし
生殖毒性 : 知見なし
催奇形性 : 知見なし

12. 環境影響情報

水生環境急性有害性 : 植物、水生生物に対して、高濃度で排出すると一過性の影響が考えられる。
水生環境慢性有害性 : 知見なし

13. 廃棄上の注意

内容物や容器を廃棄する場合は、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務を委託すること。

14. 輸送上の注意

注意事項 : 取り扱い及び保管上の注意の項の記載に従うこと。
転倒、落下、損傷のないように積み込み、荷崩れ防止を確実に行う。
国内規制 :
陸上輸送 : 消防法、労安法等に定められている運送方法に従う。
海上輸送 : 船舶安全法に定められている運送方法に従う。
航空輸送 : 航空法に定められている運送方法に従う。

15. 適用法令

労働安全衛生法 : 名称等を通知すべき有害物質(法第 57 条の 2、施行令第 18 条の 2 別表第 9)、ステアリン酸ナトリウム
化審法 : 優先評価化学物質 No. 172「飽和脂肪酸 (C=8~18、直鎖型) のナトリウム塩又は、不飽和脂肪酸 (C=8~18、直鎖型) のナトリウム塩」
優先評価化学物質の評価対象 ; 生態影響
消防法 : 該当なし
毒物及び劇物取締法 : 該当なし
P R T R 法 : 該当なし

16. その他

主な引用文献 :

1. 各原料メーカーの MSDS 、 SDS
2. 安全衛生情報センター MSDS、 SDS
3. JIS Z 7252、7253
4. その他法規

記載内容の取扱い : 記載内容は、現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、注意事項は通常の手続きを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合は、新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。